



公平なハイブリッド 会議を実現する： 実践ガイド

ユタ大学 Joseph A. Allen 博士

Google Meet用のロジクール会議室ソリューションのご紹介

logicool

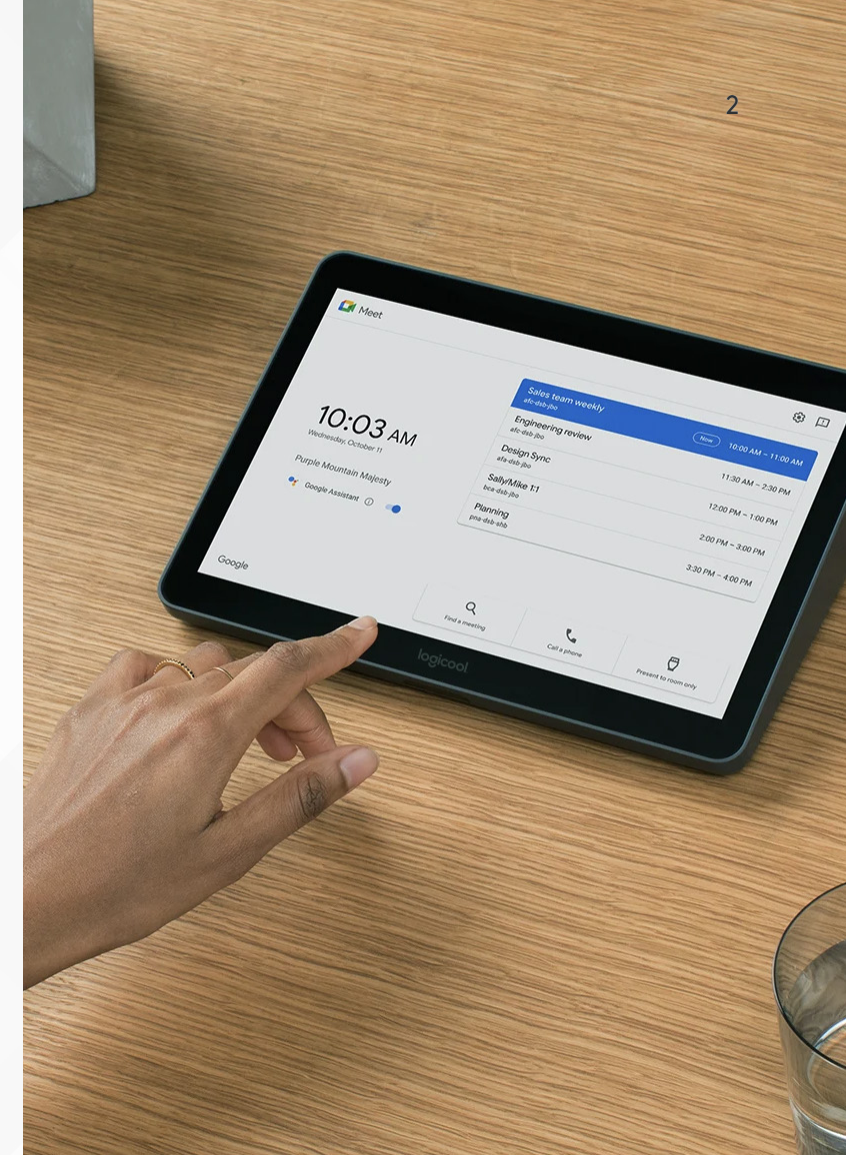
 Google Meet

公平なコラボレーションとは、場所、デバイス、言語、経験レベルを問わず、会議の全参加者が不自由なく参加できることを指します。そのためには、全員の姿と声が伝えられ、全員が関与し、評価されることが重要です。

この電子書籍では、会議科学の第一人者であるJoseph A. Allen博士から、公平なコラボレーションと、より魅力的なハイブリッド会議を実現する方法について、ヒントとベストプラクティスを学びます。

目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 公平な会議の研究をリードする教授の見解 | 3 |
| はじめに：公平性と、参加する機会 | 4 |
| リモートからの出席者に対するベストプラクティス | 5 |
| 会議室内の参加者と会議主催者に対するベストプラクティス | 7 |
| テクノロジーは、使いやすさが第一 | 9 |
| まとめ：公平な会議を実現するためのクイックヒント | 10 |
| ロジクール + Google Meet：共に成長する | 11 |



「ハイブリッド会議の予定を立てるのは簡単ですが、会議を成功させるには、全参加者が適切なハードウェア、ソフトウェア、スキルにアクセスできるようにするなど、事前の計画が必要です。」

-ユタ大学Joseph A. Allen博士

エグゼクティブの83%が、ある程度のハイブリッドワーク（70%）か、完全なリモートワーク（13%）を支援するつもりである。¹

公平な会議の研究をリードする教授の見解

私たちは、公平なハイブリッド会議に関する洞察を得るために、ユタ大学の産業・組織心理学教授であるJoseph A. Allen博士に協力を仰ぎました。Allen博士は、職場の会議の研究を15年間行っています。博士は2020年現在、職場の会議に関する全学術文献の25%を発表しています。

ここでご紹介するヒントとベストプラクティスは、博士の3年間の長期的な研究に基づいています。この研究の詳細は、博士の著書、*Suddenly Virtual*（出版済み）と*Suddenly Hybrid*（2022年1月出版予定）に掲載されています。

また、公平な会議に関する洞察に加えて、定評のあるロジックのGoogle Meet用ソリューションを、様々なハイブリッドワークの状況で活用する利点についてもご紹介します。



ユタ大学 Joseph A. Allen 博士

はじめに：公平性と、参加する機会

オンライン会議の概念は単純かもしれませんが、公平性の高い会議を計画するには繊細かつ慎重な検討が必要です。

会議の全参加者が会話に参加する機会を均等に与えられていると感じるにはどうすればよいでしょうか。Allen博士によると、参加する機会は、ハイブリッド会議に公平感を生み出すのに最も重要な要素であるとのこと。

不自由なく参加するためには、全参加者の姿と声が明確に伝えられる必要があります。そして、個々人に会話に貢献する権利が与えられているとも感じる必要があります。リーダーが奨励し、他の会議参加者が受け入れた、「参加」しているという事実は、会議の結果と会議後の行動に最も強い長期的影響を与えます。²



[ロジクール会議室ソリューション（Google Meet用）](#)は、会議参加者の参加を促すよう設計されています。

リモートからの出席者に対するベストプラクティス

ここで、会議のリモートからの出席者に対する4つのベストプラクティスを紹介します。これらは、Allen博士のオンライン・ハイブリッド会議に関する3年間の長期的研究に基づいています。⁴こうしたベストプラクティスを職場のカルチャーに取り入れて、真のコミュニケーションを促し、コラボレーションを高めてください。

1.カメラに映る。

音声のみのデバイスで接続すると、心理的距離などの会話上の障壁が生まれます。カメラに映ることが、関与を高める最初のステップです。他の人たちに自分の姿を見せることで、相手があなたと対話したくなります。画面上のあなたの魅力を最大限に引き出すために、クリアで鮮明な映像を届けられる専用のウェブカメラを使うことを検討してください。たとえば、最高の映像を届けるロジクールC925eウェブカメラです。このカメラは、HD 1080p/30 fpsとHDオートフォーカスに対応しており、個人用カメラに最適な78°の固定画角で、実物に忠実なクリアな映像を実現します。

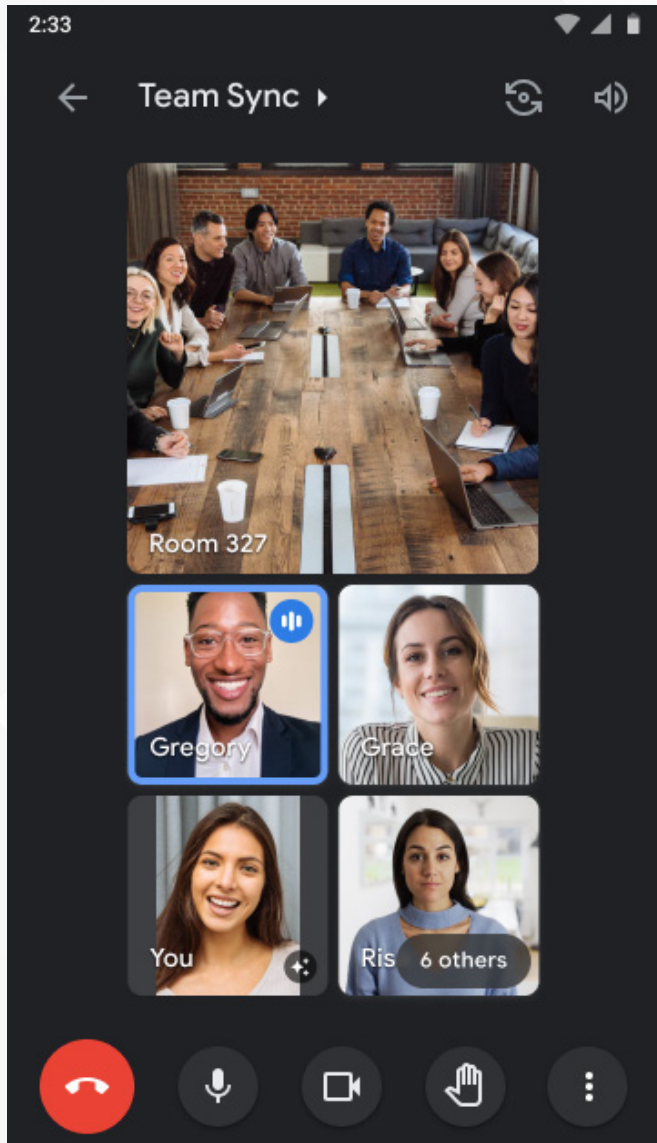
2.参加する姿勢を整えておく。

呼びかけられるまで待たないでください。Google Meetを使うと、リモートからの出席者は、高品質なオーディオと高解像度のビデオで、対面のときとまったく同じように、手を挙げる、チャットをする、アンケートに投票する、などが可能です。

リモート会議中にウェブカメラをオンにするだけで、参加度、満足度、効率が
20%～50%向上します。³



より高性能なカメラを体験してみてください。Google Meet 認定のロジクールC925eは、ノートPC内蔵のカメラより高いビデオ品質を提供し、デジタルズームや、光と色のバランスを最適にするRightSenseなどの機能を備えています。



3. 気が散る原因を最小限に抑える。

自分の背景に邪魔なものがないか確認してください。他のアプリケーションはオフにするか、最小化してください。また、照明やサウンドも確認して、自分の姿と声が相手に不快感を与えないプロフェッショナルなものであるかをチェックすることもお勧めします。

4. チャットに積極的に参加する。

ビデオ会議でGoogle Meetのチャット機能を使うと、相手とのコミュニケーションをとりやすくなり、関与し続けることができます。情報を共有し、ユーモアを適切に交え、仕事がうまくいったらチームメンバーを祝福してください。

より高性能なカメラを体験してみてください。Google Meet 認定のロジクールC925eは、ノートPC内蔵のカメラより高いビデオ品質を提供し、デジタルズームや、光と色のバランスを最適にするRightSenseなどの機能を備えています。



会議室内の参加者と会議主催者に対するベストプラクティス

次は、Allen博士、Google Meet、ロジクールから、ハイブリッド会議の会議室内の参加者と主催者に対するベストプラクティスを7つ紹介します。これらのベストプラクティスに従うと、ハイブリッド会議で、より魅力的で公平な雰囲気を作り出すことができますようになります。

1. リモートからの参加とはどういうものを忘れない。

覚えておいてください。寝室やキッチンテーブルから参加する人もいることを。リモートからの参加者の映像が乱れたり、中断されたりしたときに共感を示すと、リモートからの参加者が、気まずくならず、気持ちよく参加できるようになります。

2. 会議室の環境に注意を払う。

会議参加者を自動的にフレーム内に収め、邪魔な雑音を除去するインテリジェントな技術を使い、全員の姿と声が伝えられるようにしてください。

3. 「ひそひそ話」を最小限に抑える。

やりがちなことですが、オンライン会議中に他のことをしていると、会議の目標の全体的な達成度に悪影響を及ぼします。ひそひそ話や、気が散る原因を最小限に抑えることで、全員が集中力を保ち、良い相乗効果を維持するのに役立ちます。

ハイブリッドワークの状況に関する最近の調査によると、75%以上の回答者が、今後3年以内にハイブリッドワークが自分の組織で標準の働き方になると信じていました。70%の回答者が「パンデミック以前はリモートワークをしたことがなかった」と答えたことを考えると、ハイブリッドな働き方が、既に最も有力なものとなっていて、今後もその状況が続くことは明らかです。⁵



適切に構築された会議室とロジクールのGoogle Meet認定会議室ソリューションを組み合わせると、会議室内とリモートからの参加者間の相乗効果が高まります。

4. カメラと向き合う。

人と対面で話すときは、信頼感を生み出すために相手と目を合わせることがよくあります。会議でも同じアプローチを使い、カメラを直接見てください。これは、連帯感の育成や、目標とチームワークに対する共有の意識の向上に、大きな違いを生み出します。

5. 参加を促す。

主催者は、会議の前に、会議の全参加者に何が期待されているかを伝える段取りをする必要があります。明確で簡潔なアジェンダを作成し、参加者それぞれに何か話すことを割り当ててください。全員が不自由なく参加することが、ハイブリッド会議の改善や、公平感を生み出すのに最も効果的です。

6. Google Meetの公平なコラボレーションを実現する機能に頼る。

Google Meetには様々な機能があり、たとえばコンパニオンモードは、会議室内の参加者とリモートからの参加者に共通の体験を生み出すことで、公平な会議を促します。コンパニオンモードでは、会議室内の参加者が、リモートからの参加者と同様に、仮想的に手を挙げる、チャットをする、アンケートに投票する、などが可能です。

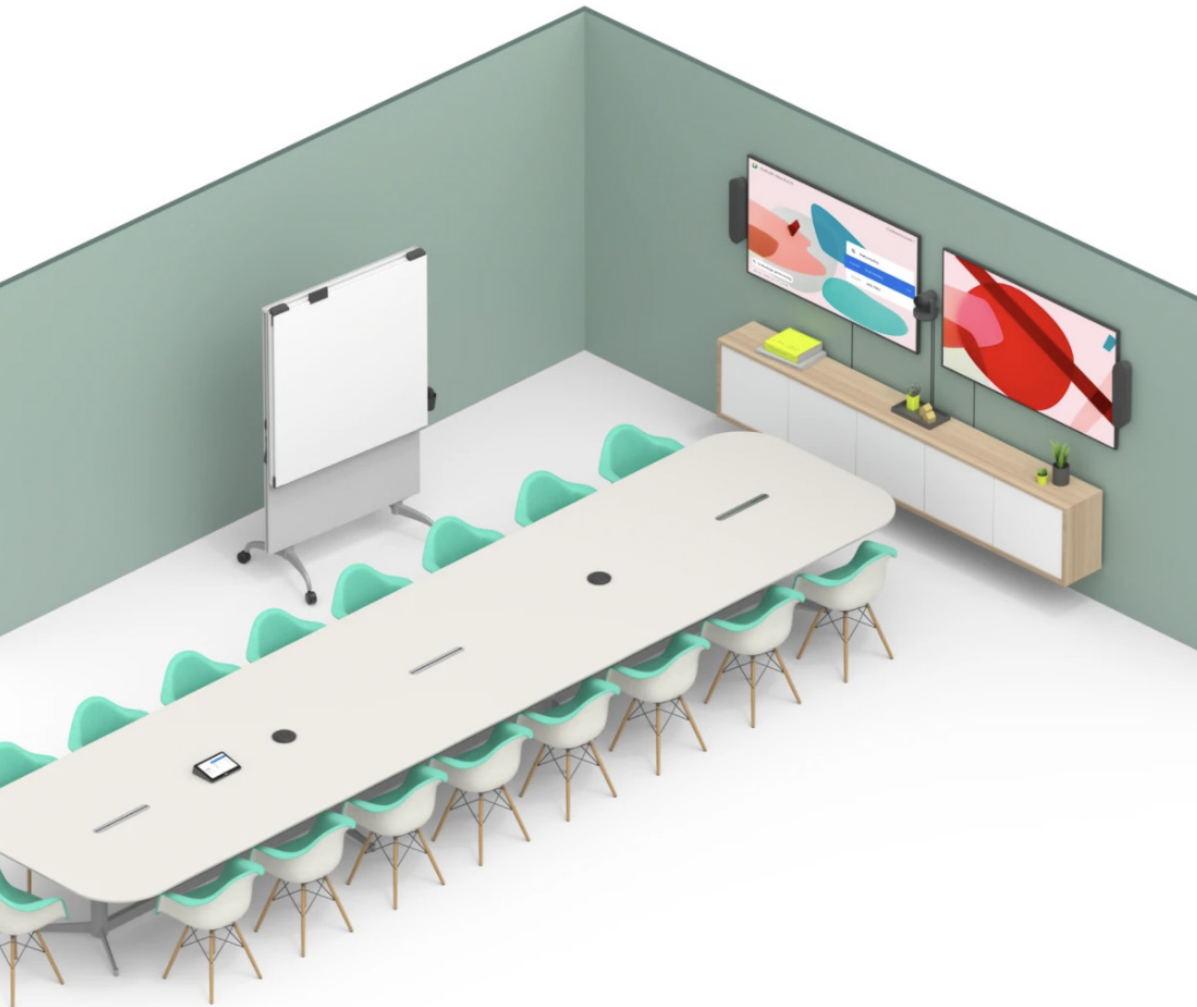
7. ロジクールのRightSenseテクノロジーを活用する。

ロジクールのカメラとオーディオソリューションに内蔵されたこのプロアクティブなAIテクノロジーは、全員にハイブリッドなビデオ会議を従来の会議と同じように自然なものに感じさせるのに役立ちます。RightSightはカメラを自動的に動かし、ズームを調節して、全員をフレーム内に収めます。RightLightは、照明条件にかかわらず参加者全員を最高の見たくで映し出します。RightSoundはサウンドを最適化し、会話の明瞭度を高めます。



ロジクールのRightSenseプロアクティブAIテクノロジーとGoogle Meetのコンパニオンモードを使うと、あらゆる環境下で、会議に集中することができるようになります。

ロジクールTapのワンタッチでの参加、簡単なコンテンツ共有、会議室での一元的なコントロールにより、すばやく簡単に会議に参加することができます。しかもTapは、すべてのロジクール会議室ソリューション（Google Meet用）に含まれています。



テクノロジーは、使いやすさが第一

Allen博士の研究によると、会議スペースの重要性が理解されていないことがよくあります。会議スペースに適切なソフトウェアとハードウェアを導入することに投資している企業は、会議を成功させるための技術的基盤を整えています。

しかし、こうしたツールが正しく機能していない場合や、直感的に操作できない場合、テクノロジーは効果的な会議やコラボレーションに対する新たな障害となってしまいます。

最高のテクノロジーは、それを使う人の邪魔をしません。従業員に何を提供するかを決断するときは、「使いやすさ」が非常に重要な要素です。会議への参加を容易にするテクノロジーを備えておくことは、参加度を高め、より公平な会議環境を実現するのに役立ちます。

まとめ： 公平な会議を実現するためのクイックヒント

ここでは、この電子書籍で説明した主なアドバイスをまとめます。

会議主催者向け：

- ④ **「関与」を重視する。** 全員を関与させます。関与度の高い従業員がいる組織は、そうでない組織より高いパフォーマンスを発揮します。
- ④ **任務を与えて、招き入れる。** リーダーとして、アジェンダの項目を会議参加者に割り当てます。各参加者に意見とフィードバックを求めます。
- ④ **雑談を勧める。** 仕事の話に取りかかる前の数分の雑談で、親近感や強力な仕事上の関係を築くことができます。チーム作りに重要な役割を果たす雑談をおろそかにしないようにしましょう。

会議参加者向け：

- ④ **自分を表現する。** 関与することは「スキル」であり、練習が必要な場合もあります。絵文字を使う、チャットをする、あるいは発言をすることで関与を高めると、関与することが容易になります。
- ④ **全精力を注ぐ。** 他のメンバーに自分の注意力をすべて誠実かつ一心に注ぎます。自分がカメラに映るようにし、相手と目を合わせるようにします。
- ④ **成功のために環境を整える。** 気が散る原因を最小限に抑えて、通知をオフにして、自分の環境がすっきりしていることを確認してください。

IT管理者向け：

- ④ **適切なオーディオ/ビデオ機器を揃える。** 有意義なつながりと効果的な会議を実現するために、会議室とホームオフィス向けの高品質ビデオコラボレーションツールに投資してください。



ロジクール + GOOGLE MEET : Better Together – 融合による より良い体験

ロジクールは、会議室とパーソナルな作業空間向けの幅広いGoogle Meet認定ソリューションを取り揃えています。この、「Better Together – 融合による より良い体験」というアプローチにより、IT管理者は、個人のデスクや、あらゆるサイズの会議室に対して、単一ベンダーのビデオコラボレーションソリューションで標準化を行うことができます。また従業員には、居場所、デバイス、言語、経験レベルにかかわらず、生産性と一貫性の高いビデオ体験が提供されます。

Google Meet認定のすべてのロジクールソリューションについては、logicool.co.jp/googleでご確認ください。



小・中・大会議室向けのロジクールの会議室ソリューションは、Google Meet用に認定されています。

logicool

ありがとうございました。



販売代理店または当社
(www.logicool.co.jp/vcsales)
までお問合せください

購入前のお問い合わせ：
株式会社ロジクール
<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/video-collaboration/help/contact-sales.html>

購入後のお問い合わせ：
株式会社ロジクール
カスタマーリレーションセンター
<https://prosupport.logi.com/>

¹ Google LLC. (2021). Navigating hybrid work: A Google Workspace handbook.

² Reed, K. M. & Allen, J. A. (2022). Suddenly Hybrid: Making Mixed Format Meetings Work. Hoboken, NJ: Wiley.

³ 同上。

⁴ 同上。

⁵ Google LLC, 2021年、Googleのグローバルハイブリッドワーク調査からの洞察。

© 2021 Logitech, Logicool. All rights reserved. 株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に含まれる製品、価格設定および機能情報は、予告なく変更される場合があります。

発行：2021年11月